

茨城県ひたちなか市立高野小学校（学校長 茅根 敏男）

実施日	平成20年2月6日（水）	時間	午前9時～午後1時30分
実施場所	体育館、5年生教室	対象/人数	5年生 131名
担当教諭	齋藤 澄子	ファシリテーター	村尾 光子
講師	コー・テイ（中国・留学生） パク・ミィチョン（韓国） リー・ペイ・リン（マレーシア） ジョナサン・マイケルズ（アメリカ 県国際交流員）		

活動内容

歓迎“こんにちは”のあいさつ（中国語・韓国語・英語・マレーシア語）

講師紹介と国や食べ物などの簡単な話

×ゲーム

韓国（キムチという食べ物の効果やキムチの種類について / 小学生の1日の過ごし方 / 目上の人に対する言葉使いや韓国語でのあいさつのしかた）
 マレーシア（自然や気候・特産物 / あいさつ / お金について）

アメリカ（国旗の意味 / 人気のあるスポーツや遊び / じゃんけんのしかた）

中国（お正月や大晦日について / 物価について / 人口や面積について）

講師との会食

児童の感想

・マレーシアはゴムの木やココナッツの木など、自然がいっぱいあるところだと思いました。また、神様を信じてその教えにしたがっている人が多いことも分かりました。

・中国では、お正月に「爆竹」をすると聞いて、とても驚きました。また、チャイナドレスを実際に見せていただき、とても色が鮮やかできれいだと思いました。

・アメリカの旗は、「州の数からできている」ということを初めて知りました。また、「じゃんけん」のしかたも日本と違って、とてもおもしろかったです。

・日本の子ども達とちがって韓国の子供達は、とても礼儀正しく、朝から晩まで毎日勉強しているという話を聞いて、私も見習わないといけないと思いました。

先生の感想

・4人の講師の先生を迎えるにあたって子ども達は、あいさつをその国の言葉を言えるように練習したり、教室を輪飾りや折り紙で飾ったりするなど、この日を楽しみにしていました。当日、子

も達は、体育館で「×ゲーム」を先生方と一緒にして、すぐに打ち解けることができました。また、感謝の気持ちを表したいということで、歌とリコーダーの演奏を先生方に聴いていただいて満足していたようです。各教室に分かれての先生方の話は、自国について子ども達が理解できるように、図やパフォーマンスを取り入れて説明してくださり、とても分かりやすかったです。短い時間ではありましたが、外国の方々と触れ合い、様々な文化についての話を聞いたことは、子ども達にとって貴重な体験になったと思います。

成果と課題

・コーディネーターとの打合せをもち、日程について詳細に話し合ったため、予定時間内に計画どおりに進めることができた。

・講師の先生が各国の様々な文化について分かりやすく説明してくれたため、子ども達が各国の異文化について興味や関心を示すようになってきた。

・ワールドキャラバンで得た知識や体験を自分たちが調べている総合的な学習に生かすようになってきた。

・一度だけの触れ合いだけでなく交流の機会を計画的に位置づけて、お互いの国や文化を尊重しあっていく力を育てていきたい。

・事前の学習を充実させておくことで、さらに深まりのあるものにしていきたい。

